

令和５年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

令和５年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語、数学、英語の３教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下 回 っ て い る	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上 回 っ て い る
国語	６９．８％		○			
数学	５１．０％	○				
英語	４５．６％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	67.5%	○				
情報の扱い方に関する事項	63.4%			○		
我が国の言語文化に関する事項	74.7%					○
話すこと・聞くこと	82.2%					○
書くこと	63.2%		○			
読むこと	63.7%	○				

【考 察】

- 「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均を上回りました。授業では、相手が「何を伝えたいのか」を聞いて正しく理解し、それを受けて自分の考えを表現する活動を行ってきました。今後は、さらに活用力が伸ばせるように、多様な言語活動を通して、既習事項を適切に用いて課題を解決に導く力を育んでいきます。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」の領域では、全国平均を下回りました。文章に即して言葉の意味を捉える活動や、文章の要旨を捉える活動の充実を図り、難解な語句に惑わされることなく正確に文章の内容を理解する力を育んでいきます。また、読み手の立場に立って自分の文章を見直し、相手に伝わるように文章を整える活動を取り入れることで、適切な表現ができる力を育んでいきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.0%	○				
図 形	33.2%	○				
関 数	51.2%	○				
データの活用	48.5%	○				

【考 察】

- 「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の領域ともに、全国平均を下回りました。どの問題も、無解答率は全国と比べて低い傾向にありますが、用語の意味や概念の理解が十分でないため、正しく判断することや数学的に表現することに課題があります。用語の意味を問い直したり、具体例を挙げてイメージをすり合わせて

いく活動をていねいに行い、基本的な知識・理解の定着に努めていきます。

- 根拠や対象が不明瞭で記述が十分でない解答が多いため、学んだ内容を活用して表現する活動や説明し伝え合う活動において、押さえるべきポイントを繰り返し確認し、数学的に表現する力を高めていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	58.4%		○			
読むこと	51.2%	○				
書くこと	23.4%	○				

【考 察】

- 「聞くこと」の領域では、全国平均をやや下回りました。情報を正確に聞き取ることはおおむね出来ていました。一方で、設定された目的や場面、状況から必要な情報を自ら判断し、聞き取ることには課題があります。具体的な場面から課題を設定し、解決するために、必要な情報を聞き取る活動に力を入れていきます。
- 「読むこと」「書くこと」の領域では、全国平均を下回りました。相手意識をもって文章から必要な情報を読み取る活動や、基本的な文型の定着練習と場面に応じて表現を使い分ける活動の充実を図ることで、文章を正しく読み取る力や、会話の応答にふさわしい文を作る力を育んでいきます。